

### 意見発表

#### 全国ハイヤー・タクシー連合会常任理事 全国道路利用者会議 副会長 楠瀬賢一



私は、高知県道路利用者会議の会長を仰せつかっております。高知県では、昨年12月に、直轄事業の高知西バイパスが全線開通をす

高速道路の4車線化、6車線化あるいはダブルネットワークの構築、こういった声が聞かれますが、大変うれしい情報でございます。地方における道路整備は、地方創生の原点だとい

道路の安定的な機能を確保し、地域経済の活性化を実現するためには、道路整備が必要不可欠であり、また、歩行者や道路の区

梅雨の時期となった。雨の日の車の運転は、特に夜ともなれば、歩行者や道路の区

と一般道、市街地と郊外部など、高速走行かつ有料であるもの

道路に関する新技術の活用に関し、国土交通省において、技術開

道路に関する新技術の活用に関し、国土交通省において、技術開

## 休憩施設における大型車駐車マス拡充の取組み

NECCO東日本、NECCO西日本は、高速道路の休憩施設において顕在化している大型車駐車エリアの混雑に対し、大型車駐車マスの拡充の取組みを進めています。

	2021年度実績 43箇所			2022年度までに着手予定 <sup>※3</sup> 約30箇所		
	工事前	工事後	増減	工事前	工事後	増減
普通車マス数 (台) <sup>※1</sup>	2,936 (3,685)	2,645 (4,063)	-291 (+378)	2,444 (2,650)	2,106 (3,179)	-338 (+529)
大型車マス数 (台) <sup>※2</sup>	2,150	3,057	+907	1,157	1,771	+614
合計マス数 (台)	5,086	5,702	+616	3,601	3,877	+276

※1: ( ) は兼用マスを含んだマス数 (兼用マス1台あたり普通車2台分としてカウント)  
※2: 兼用マスを含んだ大型車マス数 (兼用マス1台を大型車1台分としてカウント)  
※3: 現時点での計画のため、完了時のマス数は変更の可能性があり、2022年度以降に完了するマス数も含まれる

## 新技術へのさらなる期待

道路に関する新技術の活用に関し、国土交通省において、技術開発、新技術導入促進計画を策定し、異業種、他分野、新材料等も含め、新技術の開発・導入を促進して

2021年度は既存エリア内の小型車マスから大型車マスへの置き換え等により、全国43箇所のSA・PAにおいて、大型車マス約910台の拡充が完了した。

2022年度から2024年度までの3か年で大型車マス約1,500台の拡充を計画しており、うち2022年度までに全国約30箇所のSA・PAにおいて大型車駐車マスの拡充に着手を予定している。

また、兼用マスについても、普通車、大型車のそれぞれの駐車マスが満車になった場合に使用する設計となっているが、そのように利用されていないため、本来の機能が発揮できない事例が見受けられる。

近年整備を進めているダブル連結トラック駐車マスに、ダブル連結トラック以外の車両が駐車してしま

### 高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
  - ◇首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～常総IC 7月4日(月)～8日(金) 各日20:00～翌5:00
  - ◇紀勢自動車道 勢和多気JCT～紀伊長島IC 7月4日(月)～7月14日(木) 各日20:00～翌6:00
- 【集中工事】
  - ◇名神高速道路 小牧IC～吹田IC 8月下旬～9月中旬
  - ◇新名神高速道路 高槻JCT～高槻IC 8月下旬～9月中旬
  - ◇京都縦貫自動車道 大山崎JCT～長岡京IC 8月下旬～9月中旬
  - ◇京滋バイパス 久御山淀IC～大山崎JCT 8月下旬～9月中旬
- 【リニューアル工事】
  - ◇東名高速道路 東名川崎IC～東京IC 7月23日(土)～令和5年2月中旬
  - ◇阪神高速16号大阪港線(天保山方面) 6月10日(金) 22:00～令和6年秋